

個 別 注 記 表

記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① その他有価証券（営業投資有価証券を含む）

時価のないもの

移動平均法による原価法

なお、投資事業有限責任組合及びリミテッドパートナーシップへの出資持分については、組合契約に規定される決算報告日における最近の決算書を基礎とし、貸借対照表については持分相当額を純額で、損益計算書については収益、費用の持分相当額をそれぞれ売上、売上原価で取り込む方法によっております。

② 子会社株式

移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法）

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 8～15年

工具器具備品 4～15年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づき償却しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上しております。

② 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上しております。

③ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

④ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

売上高及び売上原価

売上高には、関係会社からの配当金、関係会社短期貸付金にかかる受取利息及び関係会社からの業務受託料等を計上し、売上原価には、関係会社短期貸付金にかかる資金原価等を計上することとしております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 繰延資産の処理方法

株式交付費は支出時に全額費用処理する方法を採用しております。

② 消費税等

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、令和2年4月20日開催の取締役会において、本社移転に関する決議をいたしました。これにより、本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、当事業年度の営業損失、経常損失及び税引前当期純損失はそれぞれ 255,263 千円増加しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 保証債務

以下の投資先（グループ会社を含む）に対して、金融機関等に対する保証を行っております。

| | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| Seajacks International Ltd | 6,362,343 千円（789 千ユーロ及び 56,542 千米ドル） |
| Sunrise Healthcare Service Co.,Ltd | 314,596 千円 |

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社は、産業競争力強化法に定められた支援基準に基づき、投資活動を行っております。投資活動を行うための資金需要については、必要な資金を自己資本や銀行借入による間接金融などによって調達することとしております。

資金運用については、資金の流動性及び安全性を確保するため、預金に限定して運用を行っております。

② 金融商品の内容及びそのリスク

営業投資有価証券は投資事業有限責任組合及びリミテッドパートナーシップへの出資持分であり、組入れられた株式の発行体の経営状況並びに財務状況の変化に伴い出資元本を割り込むリスクに晒されております。

関係会社株式は当社と業務上の関係を有する非上場企業の株式であり、発行体の信用リスクに晒されております。また、当社と株式会社 INCJ との間では CMS による資金取引を行っており、これに伴う貸付金は貸付先の信用リスクに晒されております。

関係会社出資金は当社の関係会社が業務執行権を有する投資事業有限責任組合等への出資持分であり、組入れられた株式等の発行体の経営状況並びに財務状況の変化に伴い出資元本を割り込むリスクに晒されております。

③ 金融商品に係るリスク管理体制

イ. 発行体及び貸付先企業の信用リスクの管理

投資先及び貸付先企業の経営状況を随時かつ定期的にモニタリングし、財務状況の悪化、事業計画の遅延等の早期把握に努めております。また、投資事業有限責任組合への出資については、定期的に組合の決算書等により財政状況や運用状況を把握しております。

ロ. 資金調達に関する流動性リスクの管理

当社は、入出金の情報を確認し、定期的に資金繰表を作成することによって流動性リスクを管理しております。

④ 金融商品の時価等に係る事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格が得られない場合には合理的に算定された価額が含まれております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

令和3年3月31日現在における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりとなっております。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

| 区 分 | 貸借対照表計上額 (千円) | 時 価 (千円) | 差 額 (千円) |
|-------------|------------------|-------------|-------------|
| ① 現金及び預金 | 69,693,469 | 69,693,469 | - |
| ② 営業投資有価証券 | 254,214 | 254,214 | - |
| ③ 関係会社短期貸付金 | 196,070,420 | 196,070,420 | - |
| 資 産 計 | 266,018,104 | 266,018,104 | - |
| ① 短期借入金 | 255,000,000 | 255,000,000 | - |
| ② 預 り 金 | 12,821,739 | 12,821,739 | - |
| ③ 未払法人税等 | 3,799 | 3,799 | - |
| 負 債 計 | 267,825,539 | 267,825,539 | - |

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

① 現金及び預金、③ 関係会社短期貸付金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

② 営業投資有価証券

営業投資有価証券のうち、投資事業有限責任組合もしくはリミテッドパートナーシップへの出資については、組合財産を時価評価できるものは時価評価を行った上、当該時価に対する持分相当額を計上しております。

負債

① 短期借入金、② 預り金、③ 未払法人税等

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

| 区 分 | 貸借対照表計上額 (千円) |
|--------------------------------|------------------|
| 営業投資有価証券に属するもの そ の 他 (*1) | 3,097,178 |
| 関係会社株式に属するもの 非 上 場 株 式 (*2) | 494,408,635 |
| 関係会社出資金に属するもの そ の 他 (*1) | 25,055,079 |

(*1) 投資事業有限責任組合、リミテッドパートナーシップ及び匿名組合の出資持分のうち時価を把握することが極めて困難と認められる組合財産にかかる持分相当額について、貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額の開示から除外しております。

(*2) 非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額の開示から除外しております。

(注3) 金銭債権の決算日後の償還予定額

| | 1年以内 (千円) |
|-----------|--------------|
| 現金及び預金 | 69,693,469 |
| 関係会社短期貸付金 | 196,070,420 |

(注4) 有利子負債の決算日後の返済予定額

| | 1年以内 (千円) |
|-------|--------------|
| 短期借入金 | 255,000,000 |
| 預り金 | 12,818,700 |

7. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

| 属性 | 会社等の名称 | 議決権等の所有割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|------|--------|---------------------|-----------|-------------------------------|--------------|----|--------------|
| 主要株主 | 財務大臣 | 被所有 直接 96.19% | 債務 被保証 | 当社借入金 に対する 債務被保証 (注) | 255,000,000 | — | — |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 当社は、借入金に対して債務保証を受けております。なお、保証料の支払は行っておりません。

(2) 子会社及び関連会社等

| 属性 | 会社等の名称 | 議決権等の所有割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|-----|--------|---------------------|------------------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 子会社 | ㈱INCJ | 所有 直接 100.00% | 役員の兼任 資金取引 職員の出向 | CMS (*2) | 9,493,076 | 関係会社 短期貸付金 | 196,070,420 |
| | | | | | 38,055,120 | 預り金 | 12,818,700 |
| | | | | | 206,063 | 未収利息 | 146,049 |
| | | | | 管理業務 (*3) | 566,012 | 未収入金 | 87,671 |

| | | | | | | | |
|-----|---------------------------------|---------------------|------------------------|---------------------|-----------------------|-------------|------------|
| 子会社 | JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ(株) | 所有 直接 100.00% | 役員の兼任 職員の出向 | 管理業務 (*3) | 68,491 | 未収入金 | 22,961 |
| 子会社 | JIC キャピタル(株) | 所有 直接 100.00% | 役員の兼任 職員の出向 | 管理業務 (*3) | 44,263 | 未収入金 | 21,484 |
| 子会社 | JIC ベンチャー・グロース・ファンド1号投資事業有限責任組合 | — | 投資事業有限責任組合への出資 (*4) | 出資 投資事業組合 運用損 | 23,880,000 341,891 | 関係会社 出資金 | 23,501,508 |
| 子会社 | JIC PE ファンド1号投資事業有限責任組合 | — | 投資事業有限責任組合への出資 (*5) | 出資 投資事業組合 運用損 | 1,600,000 230,273 | 関係会社 出資金 | 1,346,727 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (*1) 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含めておらず、期末残高には消費税等を含めておりません。
- (*2) 当社はCMS（キャッシュマネジメントサービス）により、子会社である株式会社 INCJ との間で投資資金の貸付及び売却代金等の預託を受けております。なお、当該貸付及び預託に係る利率については、市場金利を勘案して決定しております。
- (*3) 管理業務受託料に関する価格その他取引条件については、両社合意の上で決定しております。
- (*4) 当該投資事業有限責任組合は、JIC ベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合であり、投資事業有限責任組合契約書に基づき出資をしております。
- (*5) 当該投資事業有限責任組合は、JIC キャピタル株式会社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合であり、投資事業有限責任組合契約書に基づき出資をしております。

8.1 株当たり情報に関する注記

| | |
|------------|------------|
| 1株当たり純資産額 | 73,503円93銭 |
| 1株当たり当期純損失 | 452円93銭 |

9. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。